

家族・近隣との情報共有

● 家族と緊急連絡体制の確認

災害時に安否確認し再会するための大切な備えです。集合場所。連絡方法は、LINE グループ・災害用伝言ダイヤル・携帯キャリア提供の災害用伝言板サービス・被災地以外の親戚、知人に連絡の中継役をお願いするなど、複数決めておく事が大切です。

● 近隣との情報共有

過去の震災では、発生直後の住民同士による助け合いによって多くの命が救われました。自治会の防災訓練などの住民活動に参加し、ご近所と日頃から顔見知りになっておくことで、災害時に情報を共有しやすくなり、連携や助け合いがスムーズに行えます。お年寄りや障害のある方も、普段から住民活動に参加することで、自分の行動に制限がある事を地域の方に理解してもらい、いざという時に、援助をお願いする関係を築いておく事が重要です